

2016年3月期
(FY2015)
連結決算報告



大幸薬品

2016年5月
大幸薬品株式会社



- 売上高 : 対前期比 7%減
- 営業利益 : 対前期比 47%減
- 医薬品事業 : 国内海外共に売上高は対前期比増
- 感染管理事業 : 一般用製品売上高は対前期比大幅減

連結經營成績

連結経営成績サマリー

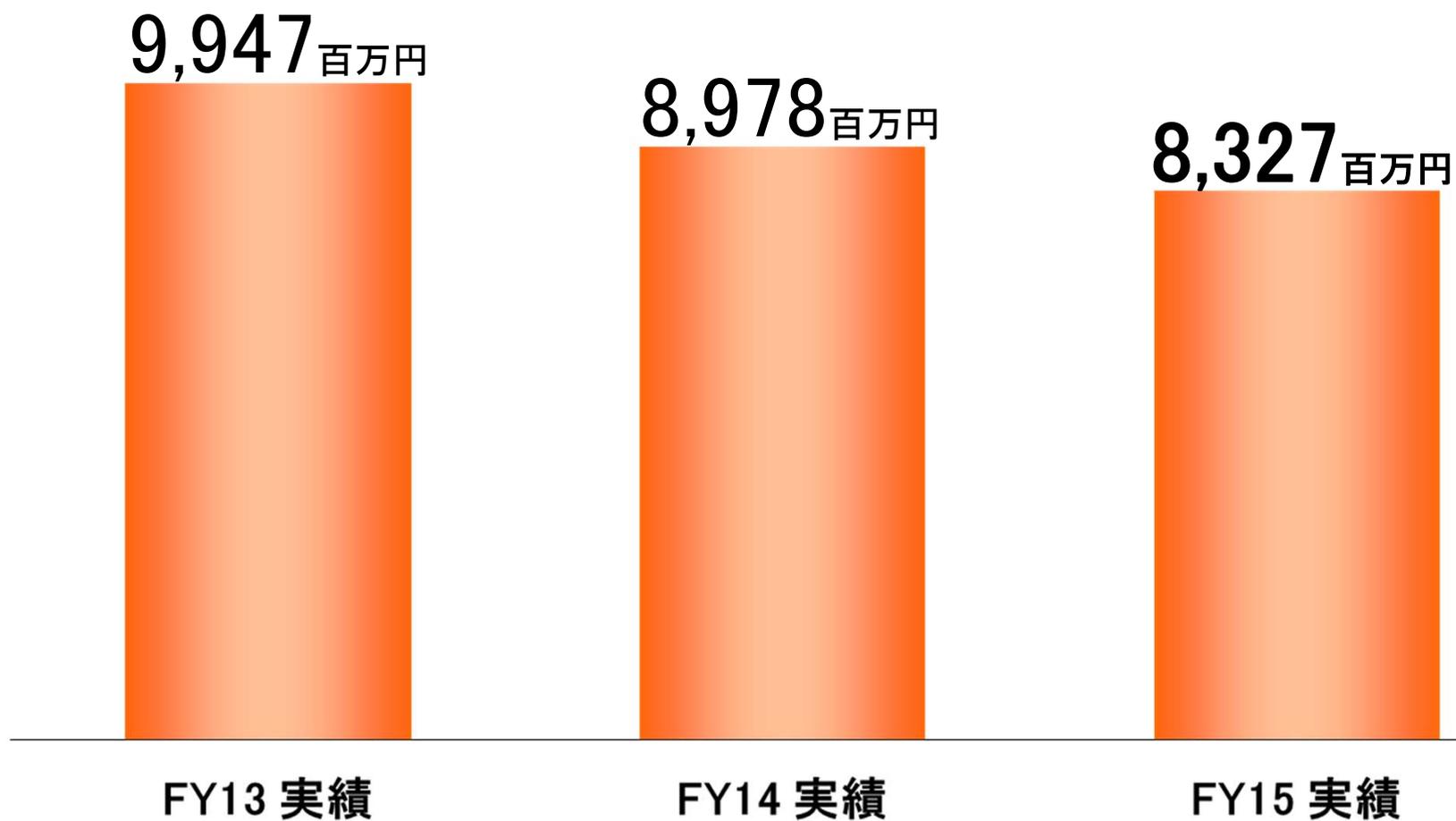
- 医薬品事業：国内海外共に売上高は対前期比増
- 感染管理事業：一般用製品の売上高は対前期比大幅減

単位：百万円

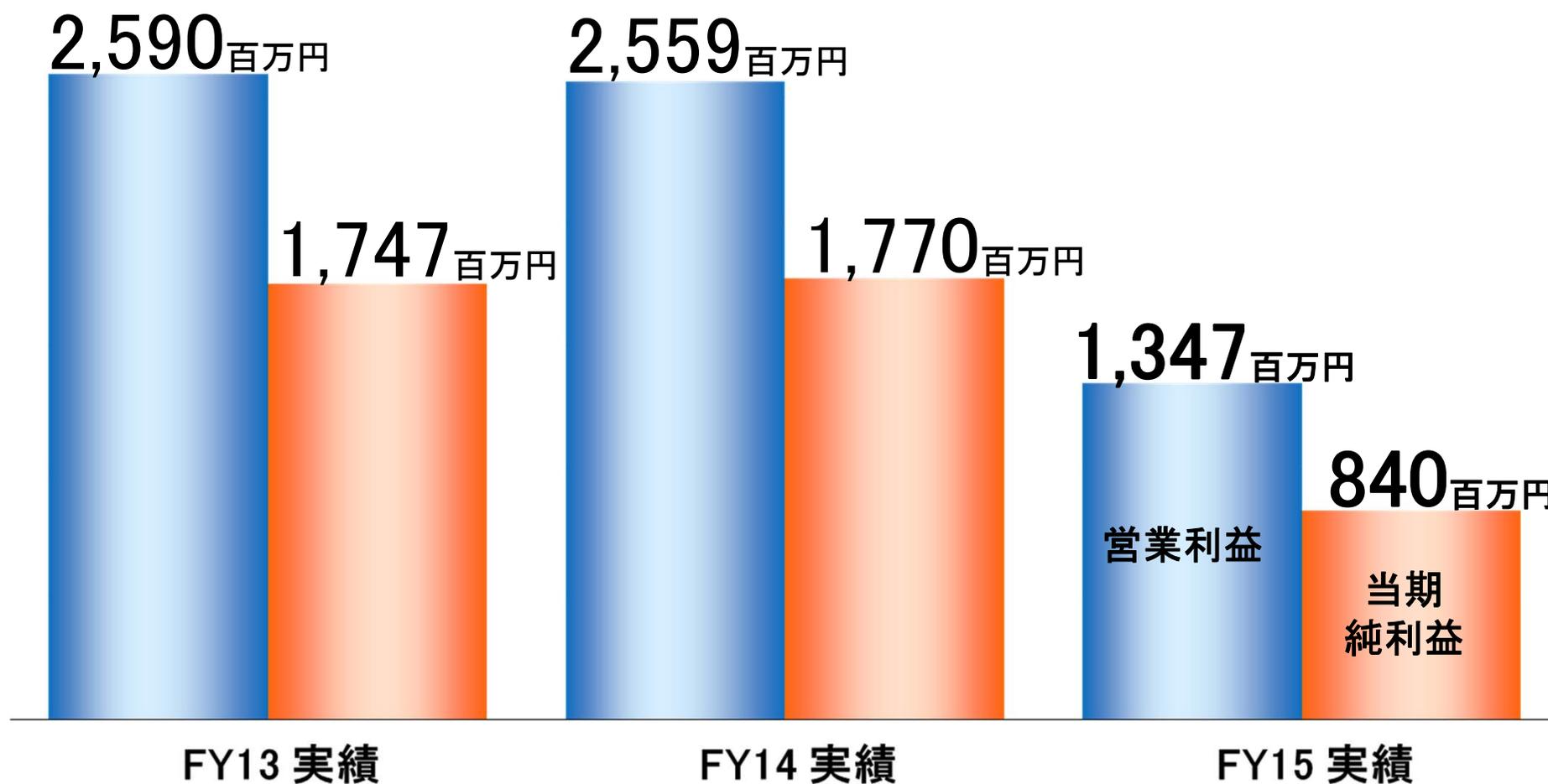
	FY14 実績	FY15 実績	増減	増減率	増減要因等
売上高	8,978	8,327	△651	△7.3%	医薬品)対前期比327百万円増 感染管理)対前期比982百万円減
売上原価(※) (売上高比率)	2,095 (23.3%)	2,588 (31.1%)	492	23.5%	(利益率低下要因)
売上総利益 (売上高比率)	6,882 (76.7%)	5,739 (68.9%)	△1,143 (△7.7P)	△16.6%	・前期は多額の返品調整引当金戻入益計上 ・工場移転の影響による粗利減少
販売費及び 一般管理費	4,323	4,391	67	1.6%	工場移転に伴う製造試験費用増加
営業利益 (売上高比率)	2,559 (28.5%)	1,347 (16.2%)	△1,211	△47.3%	
経常利益 (売上高比率)	2,776 (30.9%)	1,307 (15.7%)	△1,468	△52.9%	前期は為替差益188百万円計上
当期純利益 (売上高比率)	1,770 (19.7%)	840 (10.1%)	△930	△52.6%	特別利益：固定資産売却益103百万円計上 特別損失：工場移転費用189百万円計上

ROE	14.9%	6.6%
EPS(円)	138.93	65.23

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価



連結営業利益・当期純利益推移



販売費及び一般管理費

➤ 一時的な研究開発費(製造試験費用)の発生により対前期比増

単位:百万円

	FY14 実績	売上高 比率	FY15 実績	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,958	21.8%	1,954	23.5%	△4	△0.2%	
広告宣伝費	1,166	13.0%	1,106	13.3%	△60	△5.2%	
販売促進費	563	6.3%	630	7.6%	67	11.9%	
運送費	228	2.5%	217	2.6%	△11	△5.0%	
人件費	1,243	13.8%	1,256	15.1%	12	1.0%	
その他経費	1,121	12.5%	1,180	14.2%	59	5.3%	
研究開発費	250	2.8%	358	4.3%	108	43.4%	工場移転に伴う製造試験費用増加
支払手数料	237	2.6%	212	2.6%	△24	△10.4%	
計	4,323	48.2%	4,391	52.7%	67	1.6%	

連結財政状態

➤新工場建設投資、法人税等の支払により現預金減少

単位:百万円

	FY14 期末	FY15 期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	10,478	7,432	△3,045	△29.1%	
現金及び預金	6,119	2,996	△3,122	△51.0%	新工場建設投資 法人税等の支払 △3,506百万円 △651百万円
売上債権	1,863	2,196	333	17.9%	
たな卸資産	2,180	1,757	△423	△19.4%	
固定資産	8,120	8,874	753	9.3%	新工場の土地購入等
資産合計	18,599	16,307	△2,291	△12.3%	
流動負債	5,003	2,007	△2,996	△59.9%	新工場設備関係支払手形の決済
仕入債務	349	239	△110	△31.7%	
固定負債	1,121	1,159	38	3.4%	
純資産	12,473	13,139	666	5.3%	
負債純資産合計	18,599	16,307	△2,291	△12.3%	
自己資本比率	66.7%	80.1%			
ROA(※)	15.8%	7.5%			(※) ROA=経常利益/総資産

連結キャッシュ・フロー状況

➤新工場建設投資、法人税等の支払により現預金減少

単位：百万円

	FY14 実績	FY15 実績	主な要因
営業CF	690	377	EBITDA 1,698百万円 法人税等の支払 △651百万円 未収消費税等の増加 △355百万円 売上債権の増加 △335百万円
投資CF	△2,754	△2,635	定期預金の減少 679百万円 有形固定資産の売却 390百万円 新工場建設投資 △3,506百万円
財務CF	△825	△135	配当 △319百万円
現金・同等物換算差額	105	△47	
キャッシュ増減(※1)	△2,784	△2,441	
キャッシュ期末残高	5,438	2,996	
EBITDA(※2)	2,839	1,698	営業利益 1,347百万円 減価償却費 350百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 工場移転に係る製造試験費用増加等により利益減少
- 感染管理事業: 売上高減少等により利益減少

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY14 実績	FY15 実績	増減率	FY14 実績	利益率	FY15 実績	利益率
医薬品事業	5,753	6,081	5.7%	2,314	40.2%	2,240	36.8%
感染管理事業	3,204	2,222	△30.7%	1,394	43.5%	202	9.1%
その他事業	20	23	15.6%	△27	-	△37	-
全社(※)	-	-	-	△1,121	-	△1,058	-
連結合計	8,978	8,327	△7.3%	2,559	28.5%	1,347	16.2%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- セイロガン糖衣A及びその他の減少を正露丸の増加が上回る
- 止瀉薬市場ではトップシェアを維持



止露丸



セイロガン糖衣A

(※)その他医薬品



ピシヤット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY14 実績	FY15 実績	増減	増減率
正露丸	1,827	1,895	67	3.7%
セイロガン糖衣A	1,995	1,990	△4	△0.2%
その他(※)	178	170	△7	△4.1%
計	4,000	4,056	56	1.4%

(※)小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』
止瀉薬『ピシヤット錠』等

当社の国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ 調査データ

店頭小売価格ベース	FY14	FY15	増減
市場シェア	49.8%	49.4%	△0.4P

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場は、輸出に必要なライセンス更新に伴う出荷制限により出荷減少も、円安効果により対前期比増
- 香港・台湾市場は、出荷増加に加え円安効果もあり対前期比増

地域別売上高

単位:百万円

	FY14 実績	FY15 実績	増減	増減率
中国	794	800	5	0.7%
香港	746	972	225	30.2%
台湾	174	216	42	24.2%
その他(※)	36	34	△1	△5.0%
計	1,752	2,024	271	15.5%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 一般用製品は、期首の流通在庫が高水準、季節性インフルエンザ流行の遅れ等から対前期比減
- 一方、店頭販売は対前期比13%増で推移

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円



	FY14 実績	FY15 実績	増減	増減率
ゲル剤	2,704	1,702	△1,001	△37.0%
液剤	296	198	△97	△32.9%
クレベリン発生機(※)	204	320	116	56.9%
計	3,204	2,222	△982	△30.7%



(※)低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

対象顧客別売上高

単位:百万円

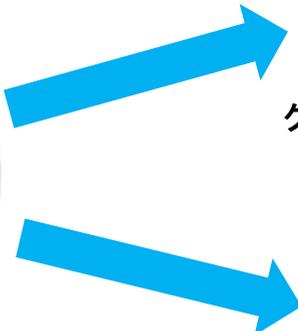


	FY14 実績	構成比	FY15 実績	構成比	増減	増減率
一般用	2,564	80.0%	1,492	67.1%	△1,072	△41.8%
業務用	640	20.0%	730	32.9%	89	14.0%
計	3,204	100.0%	2,222	100.0%	△982	△30.7%

感染管理事業の新製品売上高の状況

単位：百万円

	売上高(百万円)
クレベリンパワーセイバーペンタイプ	173
クレベリン LED	59
車両用クレベリン(中国向け)	19



セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



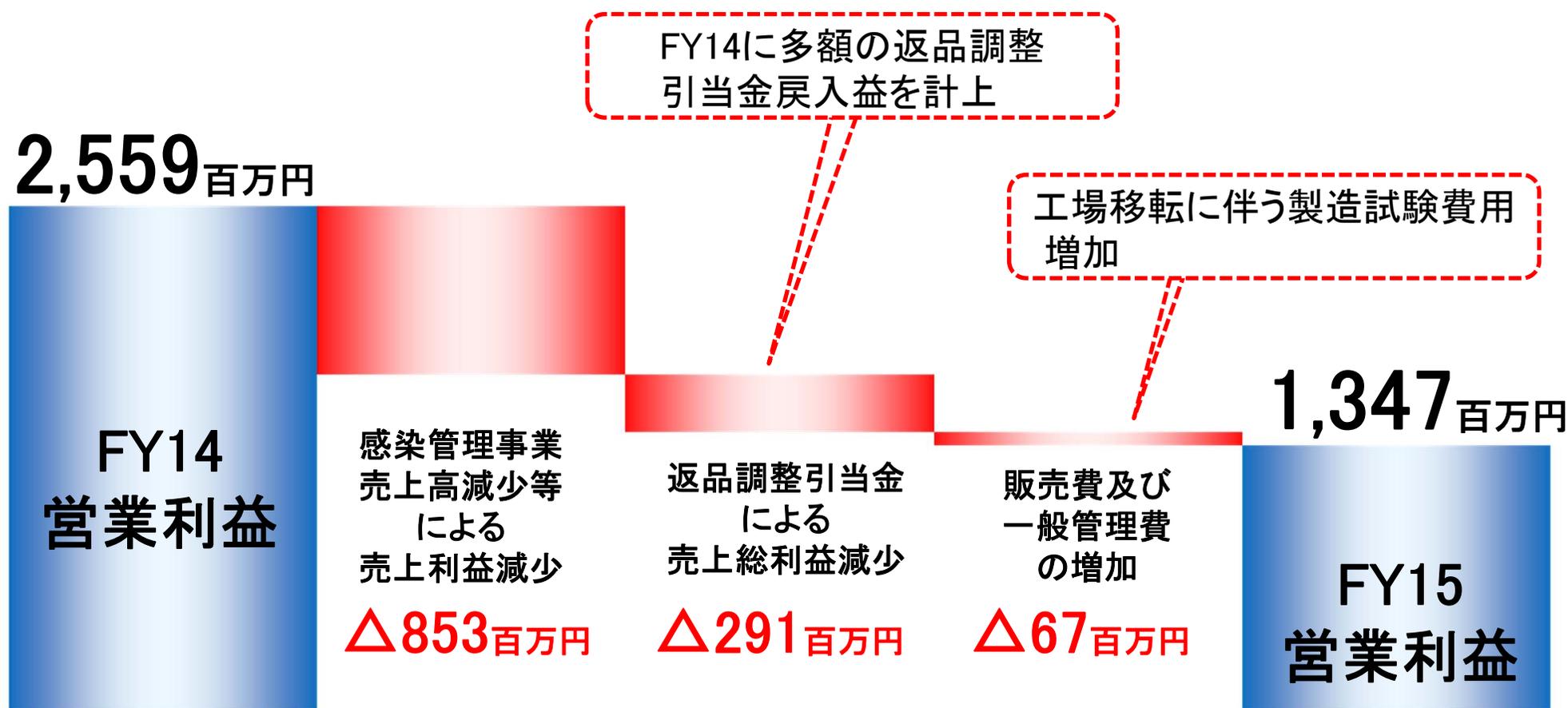
木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY14 実績	FY15 実績	増減	増減率
木酢製品等	20	23	3	15.6%

営業利益の減少要因



通期業績予想

通期業績予想

➤ 売上高、営業利益共に微増を計画

単位：百万円

	FY15 実績	FY16 予想	増減	増減率	主な前提
売上高	8,327	8,400	72	0.9%	想定為替レート：1ドル110円
医薬品	6,081	5,440	△641	△10.5%	国内)206百万円減、海外)434百万円減
感染管理	2,222	2,941	719	32.4%	一般用、業務用共に増加
その他事業	23	18	△5	△23.2%	
売上総利益 (売上高比率)	5,739 (68.9%)	5,623 (66.9%)	△115 (△2.0P)	△2.0%	円高による利益率低下等
販売費及び 一般管理費	4,391	4,273	△118	△2.7%	
営業利益 (売上高比率)	1,347 (16.2%)	1,350 (16.1%)	2	0.2%	
経常利益 (売上高比率)	1,307 (15.7%)	1,110 (13.2%)	△197	△15.1%	新工場の未稼働設備に係る費用計上
当期純利益 (売上高比率)	840 (10.1%)	850 (10.1%)	9	1.2%	FY15は工場移転費用189百万円計上

通期業績予想(販売費及び一般管理費)

➤ 販売費が減少、FY15は新工場移転に伴う製造試験費用計上

単位:百万円

	FY15 実績	売上高 比率	FY16 予想	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,954	23.5%	1,801	21.4%	△152	△7.8%	
広告宣伝費	1,106	13.3%	973	11.6%	△133	△12.0%	広告宣伝費減少内訳 (医薬品)70百万円減 (感染管理)56百万円減
販売促進費	630	7.6%	632	7.5%	2	0.4%	
運送費	217	2.6%	195	2.3%	△21	△10.1%	
人件費	1,256	15.1%	1,317	15.7%	61	4.9%	新卒採用、中途採用増加
その他経費	1,180	14.2%	1,153	13.7%	△26	△2.3%	
研究開発費	358	4.3%	273	3.3%	△85	△23.9%	FY15は新工場に係る製造試験 費用計上
支払手数料	212	2.6%	259	3.1%	46	22.0%	
計	4,391	52.7%	4,273	50.9%	△118	△2.7%	



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。